

（ 参 考 ）

平成29年3月期 第1四半期連結決算概要

平成28年 8月2日
三井化学株式会社
(単位：億円)

1. 損益状況

	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	増 減	平成28年 3月期実績	平成29年3月期業績予想 (8/2発表値)	
					2Q累計	通 期
売 上 高	3,791	2,937	△ 854	13,439	5,830	12,150
営 業 利 益	227	255	28	709	440	800
経 常 利 益	233	233	0	632	400	710
親会社株主に帰属する 当期純利益	168	162	△ 6	230	250	440
為 替 レ ー ト 円/US\$	121	108	△ 13	120	107	103
国産ナフサ価格 円/KL	48,800	31,600	△17,200	42,800	32,300	32,700

2. セグメント別 売上高・営業利益 ・売上高

(単位：億円)

	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	増 減			平成28年 3月期実績	平成29年3月期業績予想 (8/2発表値)	
			計	数量差	価格差		2Q累計	通 期
モビリティ	862	747	△ 115	10	△ 125	3,182	1,490	3,050
ヘルスケア	492	351	△ 141	△ 105	△ 36	1,611	710	1,500
フード&パッケージング	503	444	△ 59	△ 11	△ 48	1,952	880	1,920
基盤素材	1,842	1,307	△ 535	△ 216	△ 319	6,308	2,570	5,290
その他の	92	88	△ 4	△ 4	-	386	180	390
合 計	3,791	2,937	△ 854	△ 326	△ 528	13,439	5,830	12,150

・営業利益

(単位：億円)

	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	増 減				平成28年 3月期実績	平成29年3月期業績予想 (8/2発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		2Q累計	通 期
モビリティ	128	120	△ 8	14	△ 16	△ 6	449	210	390
ヘルスケア	22	32	10	1	0	9	116	60	150
フード&パッケージング	65	57	△ 8	△ 3	0	△ 5	203	100	200
基盤素材	29	70	41	△ 12	21	32	10	110	140
その他の	△ 3	△ 4	△ 1	-	-	△ 1	△ 1	0	10
全社費用等	△ 14	△ 20	△ 6	-	-	△ 6	△ 68	△ 40	△ 90
合 計	227	255	28	0	5	23	709	440	800

※当期より、平成26年度中期経営計画における基本戦略の更なる推進を図るため、事業セグメントを変更しております。

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	増 減	平成28年 3月期実績	平成29年3月期業績予想 (8/2発表値)	
					2Q累計	通 期
資産売却益	3	2	△ 1	51	2	2
事業譲渡益	-	-	-	37	-	-
固定資産処分・売却損	△ 7	△ 8	△ 1	△ 56	△ 29	△ 59
減損損失	-	△ 3	△ 3	△ 241	△ 3	△ 3
関連事業損失	△ 1	-	1	△ 10	-	-
合 計	△ 5	△ 9	△ 4	△ 219	△ 30	△ 60

4. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H28/3末	H28/6末	増 減		H28/3末	H28/6末	増 減
流動資産	6,282	6,071	△ 211	有利子負債	4,730	4,664	△ 66
有形固定資産	4,134	4,048	△ 86	その他負債	3,427	3,191	△ 236
無形固定資産	402	360	△ 42	自己資本	3,819	3,766	△ 53
投資等	1,771	1,731	△ 40	非支配株主持分	613	589	△ 24
資産計	12,589	12,210	△ 379	負債純資産計	12,589	12,210	△ 379
				(NET D/Eレシオ)	(1.03)	(1.04)	(0.01)

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	増 減	平成28年 3月期実績	平成29年3月期業績予想 (8/2発表値)	
					2Q累計	通 期
営業キャッシュ・フロー	355	209	△ 146	1,459	550	1,070
投資キャッシュ・フロー	△ 121	△ 112	9	△ 364	△ 310	△ 680
(フリーキャッシュ・フロー)	(234)	(97)	(△ 137)	(1,095)	(240)	(390)
財務キャッシュ・フロー	△ 188	△ 97	91	△ 790	△ 350	△ 460
その他	0	△ 28	△ 28	△ 29	-	-
現預金等増減	46	△ 28	△ 74	276	△ 110	△ 70
現預金等残高	552	754	202	782		

6. 当期のトピックス

- ・三井化学韓国支社を現地法人化（平成28年4月）
- ・名古屋工場における高機能不織布設備の増設工事着工（平成28年4月）
（1.5万トン/年、平成29年度営業運転開始予定）
- ・システムハウス メキシコ拠点稼働開始（平成28年4月）
- ・大牟田工場 MDIプラント停止（平成28年5月、6万トン/年）
- ・三井化学アグロ、インドPI Industries Limitedとの登録合弁会社設立に合意（平成28年5月）



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 三井化学株式会社

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 淡輪 敏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小久江 晴子

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	293,692	△22.5	25,519	12.3	23,304	0.2	16,204	△3.6
28年3月期第1四半期	379,105	△2.6	22,715	118.1	23,259	171.0	16,814	397.0

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △1,817百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 21,225百万円 (365.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	16.20	—
28年3月期第1四半期	16.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	1,220,993	435,458	30.8	376.36
28年3月期	1,258,948	443,237	30.3	381.77

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 376,554百万円 28年3月期 381,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	4.00	—	5.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	583,000	△17.7	44,000	6.2	40,000	△2.9	25,000	△12.2	24.99
通期	1,215,000	△9.6	80,000	12.8	71,000	12.4	44,000	91.6	43.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	1,022,020,076 株	28年3月期	1,022,020,076 株
29年3月期1Q	21,500,544 株	28年3月期	21,483,760 株
29年3月期1Q	1,000,524,717 株	28年3月期1Q	1,000,821,370 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 追加情報	12
4. 補足情報	13
企業集団の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般的状況)

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日の3ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、米国での景気回復が継続した一方、中国や新興国において景気が緩やかに減速していることや、英国のEU残留・離脱を問う国民投票の結果、EU離脱が多数を占めたこと等により、世界経済の不確実性が高まりました。日本においては、景気は弱さも見られるものの、雇用や所得環境の改善が続く中で緩やかな回復基調が継続しました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
当四半期	2,937	255	233	162
前年同四半期	3,791	227	233	168
増減額	△854	28	0	△6
増減率(%)	△22.5%	12.3%	0.2%	△3.6%

売上高は、前年同四半期に比べ854億円減(22.5%減)の2,937億円となりました。これは、前期における歯科材料事業等での決算期変更による影響及びポリウレタン材料事業の譲渡による販売数量減少の影響等が326億円あったこと、ナフサなどの原燃料価格下落及び為替変動に伴う販売価格下落の影響等が528億円あったことによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ28億円増(12.3%増)の255億円となりました。これは、主に原料価格下落による交易条件の改善及び事業構造改善効果の発現に伴う固定費の減少等によるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ0.4億円増(0.2%増)の233億円となりました。これは、営業利益が増加したものの、為替差損益の悪化の影響があったことなどによるものです。

特別損益は、前年同四半期に比べ固定資産処分損等が増加したため、9億円の損失となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ3億円減(1.6%減)の224億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べ6億円減(3.6%減)の162億円となり、1株当たり四半期純利益金額は16.20円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

当社は平成26年度中期経営計画における基本戦略の更なる推進を図るため、平成28年4月1日付で一部事業セグメントを見直しました。具体的には、従来の機能樹脂セグメントと、石化セグメントのうち海外ポリプロピレン・コンパウンド事業を統合し、モビリティセグメントとしております。また、従来のフード&パッケージングセグメントと、ウレタンセグメントのうちコーティング・機能材事業を統合し、フード&パッケージングセグメントとしております。さらに、従来の基礎化学品セグメントと、海外ポリプロピレン・コンパウンド事業を除く石化セグメント、ウレタンセグメントのうちポリウレタン材料事業を統合し、新たに基盤素材セグメントとしております。

以上のセグメント区分の変更により、前年同四半期のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(モビリティ)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ115億円減の747億円、売上高全体に占める割合は25%となりました。また、営業利益は、販売数量が拡大したものの、円高の影響及び交易条件の悪化等により、前年同四半期に比べ8億円減の120億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・減益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、販売は堅調に推移したものの、交易条件の悪化及び円高の影響を受けました。

機能性コンパウンド製品は、円高の影響があったものの、中国コンパウンド新会社の立ち上がり等により、順調に販売を拡大しました。

機能性ポリマーは、円高の影響があったものの、ICT（情報通信技術）関連用途の需要拡大に的確に対応しました。

海外**ポリプロピレン・コンパウンド**事業は、北米を中心に自動車生産台数は増加したものの、為替影響を含む交易条件は悪化しました。

(ヘルスケア)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ141億円減の351億円、売上高全体に占める割合は12%となりました。一方、営業利益は、堅調な販売及び固定費減少により、前年同四半期に比べ10億円増の32億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

ビジョンケア材料のメガネレンズ用材料、**不織布**は、販売が堅調に推移しました。

歯科材料は、前期における決算期変更による販売数量の減少があるものの、欧米を中心に販売が堅調に推移しました。また、前期における減損損失の計上により、のれん償却費等の固定費が減少しました。

(フード&パッケージング)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ59億円減の444億円、売上高全体に占める割合は15%となりました。また、営業利益は、販売の減少により、前年同四半期に比べ8億円減の57億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・減益となりました。

コーティング・機能材は、海外関係会社での交易条件の改善等がありました。

機能性フィルム・シートは、包装用フィルム分野における堅調な販売、交易条件の改善等がありました。

農薬は、国内、海外ともに販売数量の減少、また円高の影響を受けました。

(基盤素材)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ535億円減の1,307億円、売上高全体に占める割合は45%となりました。一方、営業利益は、当社が進めてきた事業構造改善の効果が発現したこと及び堅調な国内需要の影響により、前年同四半期に比べ41億円増の70億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

ナフサラッカーの稼働率は、前年同四半期を上回りました。また、**ポリエチレン**及び**ポリプロピレン**は、国内需要を背景に堅調に推移しました。

フェノールは、前年同四半期に比べ市況は低水準ながら緩やかに改善しており、事業構造改善の効果も徐々に現れております。

高純度テレフタル酸は、中国市況の低迷を背景に厳しい状況が続いているものの、事業構造改善の効果が発現しております。

ポリウレタン材料は、事業構造改善の順調な効果発現による固定費の減少等により、収益が改善しております。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ4億円減の88億円、売上高全体に占める割合は3%となりました。また、営業損失は、前年同四半期に比べ1億円増の4億円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ379億円減の1兆2,210億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ302億円減の7,855億円となりました。また、**有利子負債**は66億円減の4,664億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ0.6ポイント増の38.2%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ77億円減の4,355億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ0.5ポイント増の30.8%となりました。

以上により、当期末の**ネットD/Eレシオ(ネット有利子負債(有利子負債－現預金)／自己資本)**は、前期末に比べ0.01ポイント増の1.04となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(業績の見通し)

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成28年7月27日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、修正を行っております。

第2四半期連結累計期間の業績予想の修正にあたり、為替レートは4～9月107円/\$、国産ナフサ価格は4～9月32,300円/KLを前提としております。

また、通期につきましては、モビリティ、ヘルスケア及びフード&パッケージングの各セグメントの販売が堅調に推移していることに加えて、基盤素材セグメントの需要が堅調に推移し、ナフサクラッカーを始めとした各プラントの稼働が高水準で継続する見込みです。

下期の事業を取り巻く環境は不透明であり、為替及び経済環境変動に伴うリスクも想定されるものの、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想値から増加する見込みです。

通期の為替レート及び国産ナフサ価格は、103円/\$、32,700円/KLを前提としております。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
第2四半期 連結累計期間	5,830	440	400	250
通期	12,150	800	710	440

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高						合 計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージ ング	基盤素材	その他	全社 費用等	
第2四半期 連結累計期間	1,490	710	880	2,570	180	—	5,830
通期	3,050	1,500	1,920	5,290	390	—	12,150

(単位：億円)

	営業利益						
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージ ジング	基盤素材	その他	全社 費用等	合 計
第2四半期 連結累計期間	210	60	100	110	0	△40	440
通期	390	150	200	140	10	△90	800

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,578	76,146
受取手形及び売掛金	245,345	232,322
たな卸資産	240,686	233,754
繰延税金資産	11,007	11,309
未収入金	44,913	44,113
その他	7,480	9,991
貸倒引当金	△799	△573
流動資産合計	628,210	607,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	328,354	325,706
減価償却累計額	△227,510	△227,797
建物及び構築物(純額)	100,844	97,909
機械装置及び運搬具	979,458	967,524
減価償却累計額	△866,582	△860,055
機械装置及び運搬具(純額)	112,876	107,469
土地	157,697	157,264
建設仮勘定	31,307	32,243
その他	70,313	69,416
減価償却累計額	△59,635	△59,500
その他(純額)	10,678	9,916
有形固定資産合計	413,402	404,801
無形固定資産		
のれん	9,408	8,306
その他	30,765	27,701
無形固定資産合計	40,173	36,007
投資その他の資産		
投資有価証券	124,942	122,300
退職給付に係る資産	17,571	19,277
繰延税金資産	6,362	6,412
その他	29,070	25,873
貸倒引当金	△782	△739
投資その他の資産合計	177,163	173,123
固定資産合計	630,738	613,931
資産合計	1,258,948	1,220,993

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,331	114,901
短期借入金	86,490	89,822
1年内返済予定の長期借入金	25,892	19,936
1年内償還予定の社債	20,142	30,142
未払法人税等	5,886	3,713
役員賞与引当金	164	38
修繕引当金	8,129	10,662
事業構造改善引当金	234	850
その他	98,991	82,067
流動負債合計	364,259	352,131
固定負債		
社債	59,716	49,645
長期借入金	279,583	275,858
繰延税金負債	19,791	17,957
役員退職慰労引当金	277	239
修繕引当金	4,251	4,115
環境対策引当金	786	767
事業構造改善引当金	2,648	2,100
退職給付に係る負債	59,659	58,190
資産除去債務	3,991	3,830
その他	20,750	20,703
固定負債合計	451,452	433,404
負債合計	815,711	785,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	90,847	90,847
利益剰余金	181,128	193,329
自己株式	△14,607	△14,613
株主資本合計	382,421	394,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,650	11,677
繰延ヘッジ損益	△48	△54
為替換算調整勘定	8,930	△6,753
退職給付に係る調整累計額	△23,982	△22,932
その他の包括利益累計額合計	△450	△18,062
非支配株主持分	61,266	58,904
純資産合計	443,237	435,458
負債純資産合計	1,258,948	1,220,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	379,105	293,692
売上原価	300,329	221,758
売上総利益	78,776	71,934
販売費及び一般管理費	56,061	46,415
営業利益	22,715	25,519
営業外収益		
受取利息	132	186
受取配当金	698	818
持分法による投資利益	1,312	285
為替差益	591	—
その他	1,050	905
営業外収益合計	3,783	2,194
営業外費用		
支払利息	1,804	1,410
為替差損	—	2,343
その他	1,435	656
営業外費用合計	3,239	4,409
経常利益	23,259	23,304
特別利益		
固定資産売却益	21	66
投資有価証券売却益	266	159
特別利益合計	287	225
特別損失		
固定資産処分損	751	816
固定資産売却損	5	4
減損損失	—	343
関連事業損失	60	—
特別損失合計	816	1,163
税金等調整前四半期純利益	22,730	22,366
法人税等	4,063	3,455
四半期純利益	18,667	18,911
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,853	2,707
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,814	16,204

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	18,667	18,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,783	△3,032
繰延ヘッジ損益	321	0
為替換算調整勘定	△1,218	△17,184
退職給付に係る調整額	946	1,088
持分法適用会社に対する持分相当額	△274	△1,600
その他の包括利益合計	2,558	△20,728
四半期包括利益	21,225	△1,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,580	△1,410
非支配株主に係る四半期包括利益	1,645	△407

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージング	基盤素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	86,192	49,182	50,335	184,235	369,944	9,161	379,105
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,759	874	1,254	19,517	24,404	14,737	39,141
計	88,951	50,056	51,589	203,752	394,348	23,898	418,246
セグメント利益又は セグメント損失(△)	12,812	2,141	6,523	2,853	24,329	△272	24,057

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	24,329
「その他」の区分の損失(△)	△272
セグメント間取引消去等	61
全社費用等(注)	△1,403
四半期連結損益計算書の営業利益	22,715

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージング	基盤素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,698	35,137	44,395	130,687	284,917	8,775	293,692
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,600	599	1,185	13,920	18,304	12,168	30,472
計	77,298	35,736	45,580	144,607	303,221	20,943	324,164
セグメント利益又は セグメント損失(△)	12,014	3,184	5,684	7,004	27,886	△392	27,494

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	27,886
「その他」の区分の損失(△)	△392
セグメント間取引消去等	△443
全社費用等(注)	△1,532
四半期連結損益計算書の営業利益	25,519

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
(セグメント区分の変更)

当社は平成26年度中期経営計画における基本戦略の更なる推進を図るため、平成28年4月1日付で一部事業セグメントを見直しました。具体的には、従来の機能樹脂セグメントと、石化セグメントのうち海外ポリプロピレン・コンパウンド事業を統合し、モビリティセグメントとしております。また、従来のフード&パッケージングセグメントと、ウレタンセグメントのうちコーティング・機能材事業を統合し、フード&パッケージングセグメントとしております。さらに、従来の基礎化学品セグメントと、海外ポリプロピレン・コンパウンド事業を除く石化セグメント、ウレタンセグメントのうちポリウレタン材料事業を統合し、新たに基盤素材セグメントとしております。

以上のセグメント区分の変更により、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

セグメントごとに製造・販売をしている主要製品は、以下のとおりであります。

セグメント		主 要 製 品
報告セグメント	モビリティ	エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー、ポリプロピレン・コンパウンド
	ヘルスケア	ビジョンケア材料、不織布、歯科材料、パーソナルケア材料
	フード&パッケージング	コーティング・機能材、機能性フィルム・シート、農薬
	基盤素材	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、触媒、フェノール類、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、ポリウレタン材料、工業薬品
その他	その他	その他関連事業等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

4. 補足情報

企業集団の状況(組織改正)

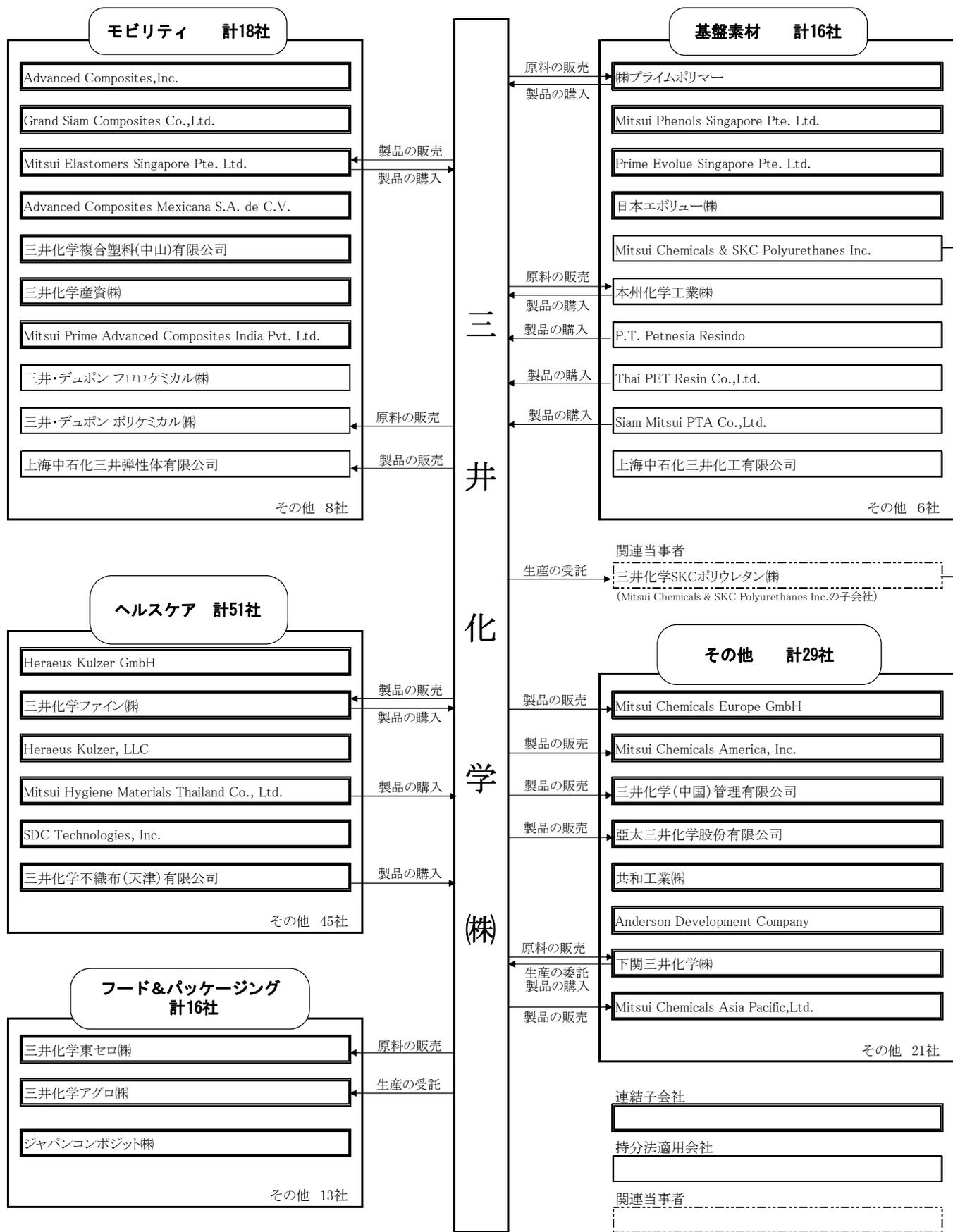
当社グループは、当社、子会社 104 社及び関連会社 28 社で構成され、モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング及び基盤素材の製造・販売を主な事業内容とし、さらに、各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

当社は、子会社のうち 95 社を連結し、支配が一時的等の 2 社を除く子会社及び関連会社 35 社に持分法を適用しております。

各セグメントにおける主要製品と主な関係会社は次のとおりです。

事業区分	主要製品	主な関係会社
モビリティ	エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー、ポリプロピレン・コンパウンド	Advanced Composites, Inc.、Grand Siam Composites Co.,Ltd.、Mitsui Elastomers Singapore Pte. Ltd.、Advanced Composites Mexicana S. A. de C. V.、三井化学複合塑料(中山)有限公司、三井化学産資(株)、Mitsui Prime Advanced Composites India Pvt. Ltd.、三井・デュポン フロロケミカル(株)、三井・デュポン ポリケミカル(株)、上海中石化三井弾性体有限公司 その他 8 社 (計 18 社)
ヘルスケア	ビジョンケア材料、不織布、歯科材料、パーソナルケア材料	Heraeus Kulzer GmbH、三井化学ファイブ(株)、Heraeus Kulzer, LLC、Mitsui Hygiene Materials Thailand Co., Ltd.、SDC Technologies, Inc.、三井化学不織布(天津)有限公司 その他 45 社 (計 51 社)
フード&パッケージング	コーティング・機能材、機能性フィルム・シート、農薬	三井化学東セロ(株)、三井化学アグロ(株)、ジャパンコンポジット(株) その他 13 社 (計 16 社)
基盤素材	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、触媒、フェノール類、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、ポリウレタン材料、工業薬品	(株)プライムポリマー、Mitsui Phenols Singapore Pte. Ltd.、Prime Evolve Singapore Pte. Ltd.、日本エボリュウ(株)、Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc.、本州化学工業(株)、P. T. Petnesia Resindo、Thai PET Resin Co., Ltd.、Siam Mitsui PTA Co., Ltd.、上海中石化三井化工有限公司 その他 6 社 (計 16 社)
その他	その他関連事業等	Mitsui Chemicals Europe GmbH、Mitsui Chemicals America, Inc.、三井化学(中国)管理有限公司、亞太三井化学股份有限公司、共和工業(株)、Anderson Development Company、下関三井化学(株)、Mitsui Chemicals Asia Pacific, Ltd. その他 21 社 (計 29 社)

以上の企業集団の状況に関する事業系統図は次のとおりです。



なお、一部の会社は複数のセグメントに跨っております。